

FUJITSU Software

システムウォーカー

フォー

イーアールピー

Systemwalker for ERP

パッケージ ジョブ連携 V17.0.0

ご紹介&機能紹介

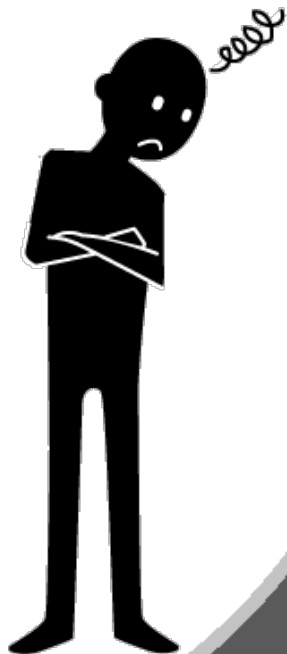
2022年7月

富士通株式会社



- こんなことでお困りではありませんか？
- Systemwalker for ERPパッケージ ジョブ連携で解決！
- Systemwalker for ERPパッケージ ジョブ連携とは
- V17.0の新機能
- Systemwalker for ERPの機能
- モデルケース

こんなことでお困りではありませんか？



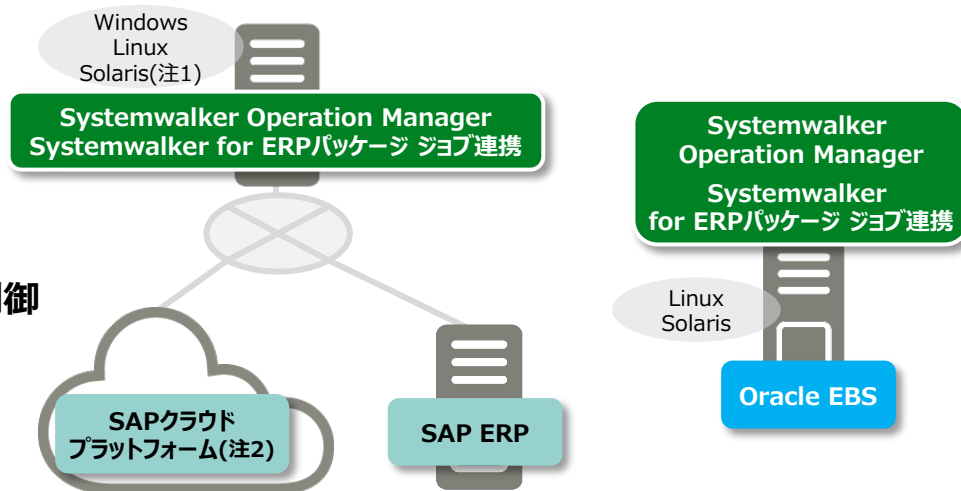
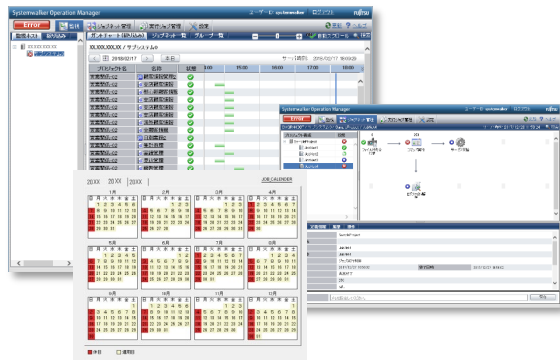
- SAP ERPやOracle E-Business Suiteのバッチ処理を自動化したい。しかし、週末、月末処理、休日シフトなど、複雑なスケジュールが困難。他の業務との連携も難しい
- SAP ERPやOracle E-Business Suiteのバッチ処理、他業務の処理状況を把握したい
- 業務の異常検出が遅れ、業務への影響が大きくなることもある
- SAP ERPやOracle E-Business Suite 以外の製品で自動化した場合、その親和性が不安である

- 複数のカレンダー定義や豊富なスケジュール機能を利用して、複雑な業務も自動化できます。また、他の業務や他システムとシームレスに連携できます
- 複数の業務をガントチャートやジョブフロー図により視覚的に状況を把握できます
- 業務の異常はビジュアルでリアルタイムに把握できます。また、SAP ERPやOracle E-Business Suite自身の異常も検出し、運用管理者へ自動通知します
- SAP ERPやOracle E-Business Suiteのバッチ処理を自動的に起動／監視でき、実行結果やログも画面から参照できます



SAP ERPまたは、Oracle E-Business Suiteの業務の自動運転を強力に支援

- 豊富なスケジュール機能
- ビジュアルな監視画面
- 異常検出
- コンカレントプログラム制御
- コンカレントプログラム起動可能ユーザーのアクセス制御
- SAP ERPジョブ起動可能ユーザーのアクセス制御



ERPジョブを含めたきめ細かいスケジュールリングができます
(休日シフト、間隔起動、特定の期間だけ変更など)

注1) SAP クラウドプラットフォームには対応していません

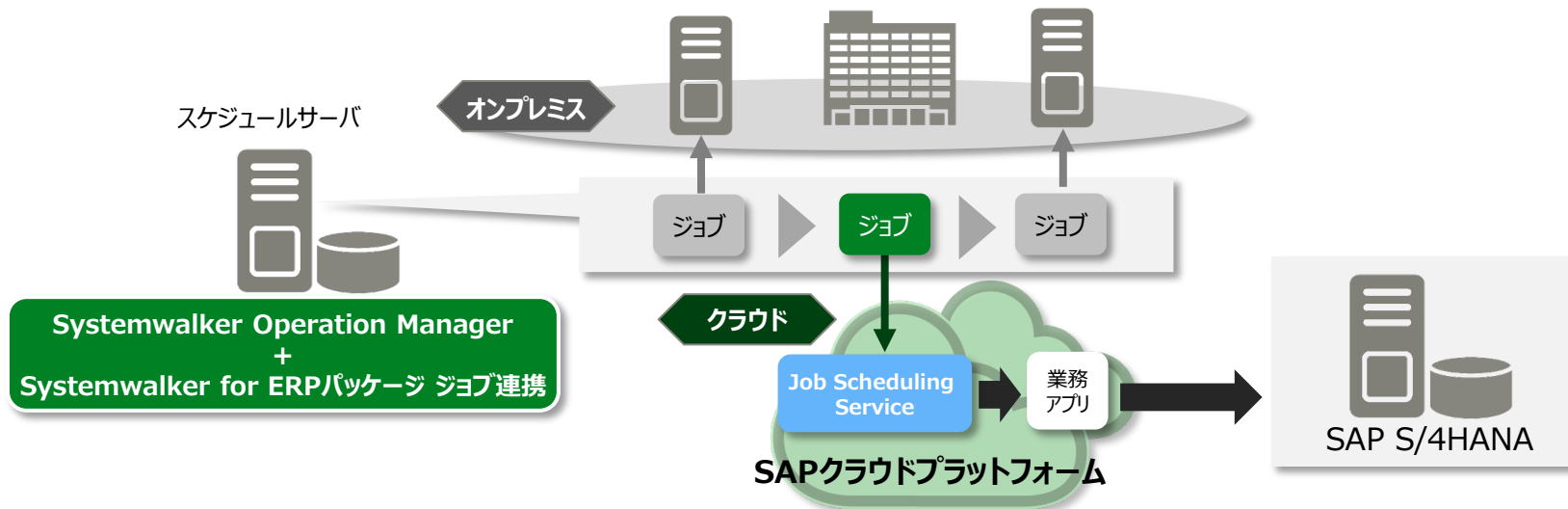
注2) 本資料では、SAP Business Technology Platformを“SAPクラウドプラットフォーム”と記載しています

V17.0の新機能

V17.0 NEW

ハイブリッドクラウド環境でのジョブ運用

- SAPクラウドプラットフォームに実装されたERP業務を、ジョブとして定義し、Systemwalker Operation Managerのきめ細かなスケジュール管理が可能
- オンプレミス上の基幹業務とクラウドサービス業務を組み合わせた一元的な運用を実現



Systemwalker for ERP の機能

複数のカレンダー定義や豊富なスケジュール機能を利用して、複雑な業務も自動化できます。また、他の業務や他システムとシームレスに連携できます

複数のカレンダーを持ち、業務ごとに異なったカレンダーによる自動化ができます

週末、月末などの起動日指定が直感的に設定できます

月末処理と休日が重なった場合は、前後に任意の日数分シフトして稼働させるなど、柔軟に自動化することができます

SAP ERPやOracle E-Business Suiteの業務以外に、一般のバッチジョブも自動化でき、SAP ERPやOracle E-Business Suiteのバッチ業務と連携することができます

ネットワークを経由して、他のシステムのバッチ業務も自動化でき、SAP ERPやOracle E-Business Suiteのバッチ業務と連携することができます。また、他システムからのファイル受信を契機とした連携などもできます



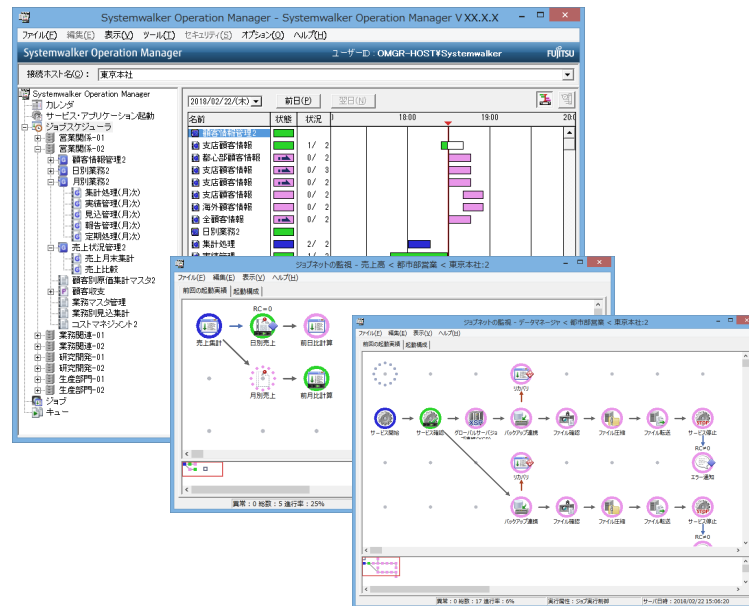
ガントチャートやジョブフロー図により、複数の業務の状況を視覚的に把握できます

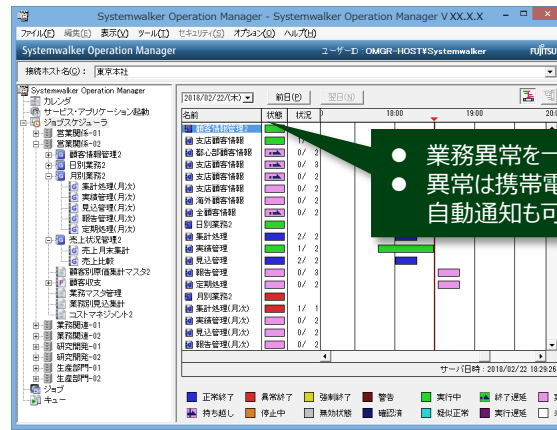
ガントチャート表示により、時系列な処理状況を一目で把握できます

ガントチャートは、全体の業務を対象に表示することも可能であり、トータルな業務遂行状況の把握が視覚的に確認できます

ジョブフロー図表示により、個々の業務の詳細な処理状況を一目で把握できます

ネットワークで接続された複数のサーバの業務遂行状況を集中監視することができます



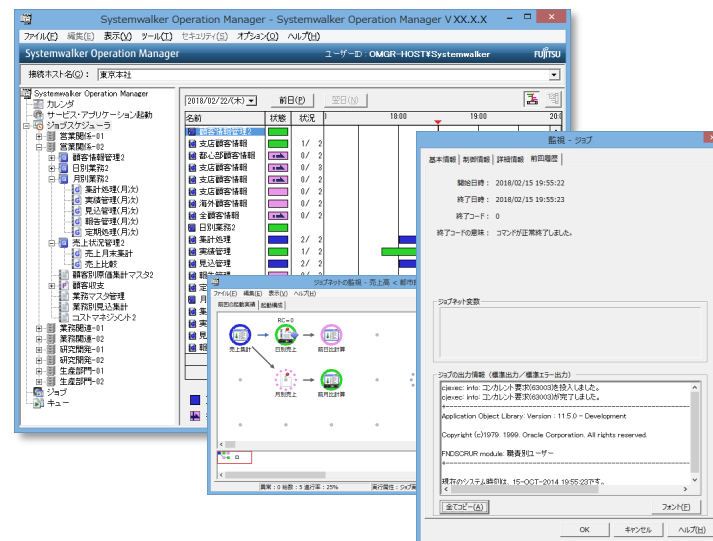


SAP ERPやOracle E-Business Suiteのバッチ処理を自動的に起動／監視でき、実行結果やログも画面で参照できます

定義に従って、SAP ERPジョブやコンカレントプログラムを自動的に起動し、処理が終了するのを待ち合わせます

ジョブの実行が終了すると、完了ステータスを取得し、異常終了などのステータスをSystemwalker の画面で参照できます

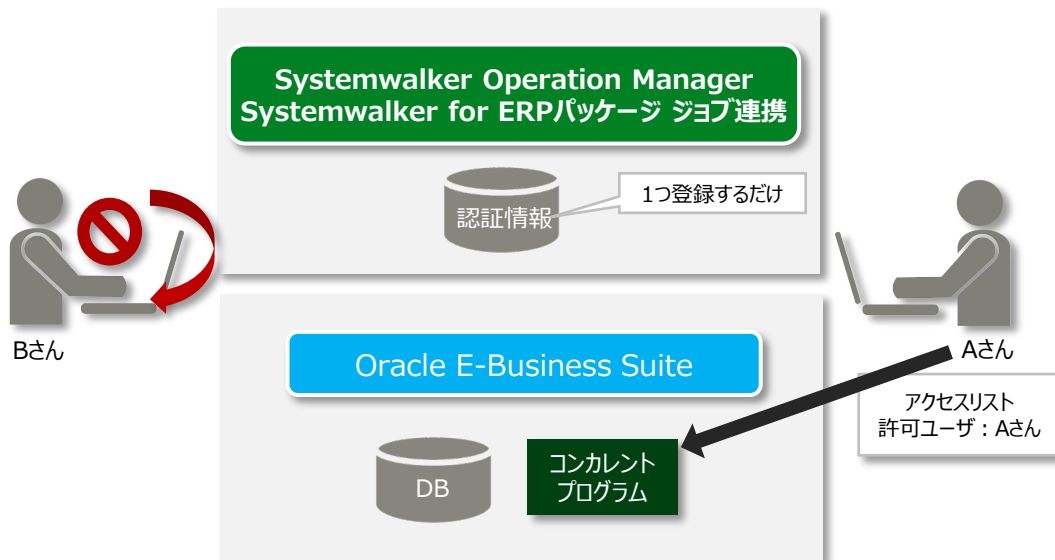
実行ログも取得するので、Systemwalkerの画面から実行ログを参照し、内容を確認することができます



DBアクセス認証情報の一元管理、コンカレントプログラム起動可能ユーザーのアクセス制御が行えます

DBアクセスのための認証情報をジョブごとに定義するのではなく、一元管理するため、業務構築の作業負担を軽減します

誰でもコンカレントプログラムを起動できないようアクセス制御を行い、不当な起動操作などを防止します



Systemwalker for ERPパッケージ ジョブ連携を選択すると・・・

業務異常時や処理結果確認を行う場合、SAP ERPジョブのログやコンカレントプログラムのログをSystemwalkerの監視画面で確認できます

認証情報を一元管理するため、ジョブごとに認証情報を定義する必要がなく、業務負荷を軽減します

SAP ERPやコンカレントマネージャ停止など、ERPパッケージ自身の異常により業務が実行できない異常事象を自動的に検出し、運用管理者へ通知します

容易な業務構築、ビジュアルでリアルタイムな監視ビュー、各種異常事象の自動検出、業務異常調査ログの提供、リカバリ機能など、業務運用のライフサイクルをきちんと考えた商品となっています

自動化するコンカレントプログラムごとに、言語種別設定が行えるため、既存の業務資産に対して柔軟に対応できます（Oracle E-Business suite ジョブ連携機能）

モデルケース

効果

SystemwalkerによりERPパッケージ システムを自動化すると

電源も含めたトータルな自動運転により、夜間無人化を実現



夜間オペレータ単金×10時間×稼働日／年間

想定削減額 = 2,000円×10時間×230日 = 460万円

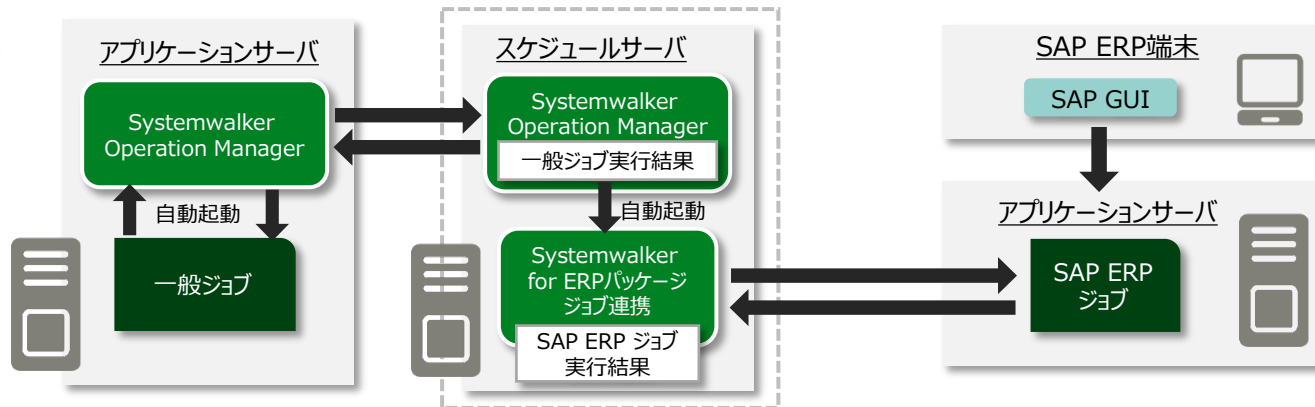
短期間（2か月）での業務構築



3人×2ヶ月の費用で業務の構築を実現

モデルケース SAP ERP システム構成

システムイメージ

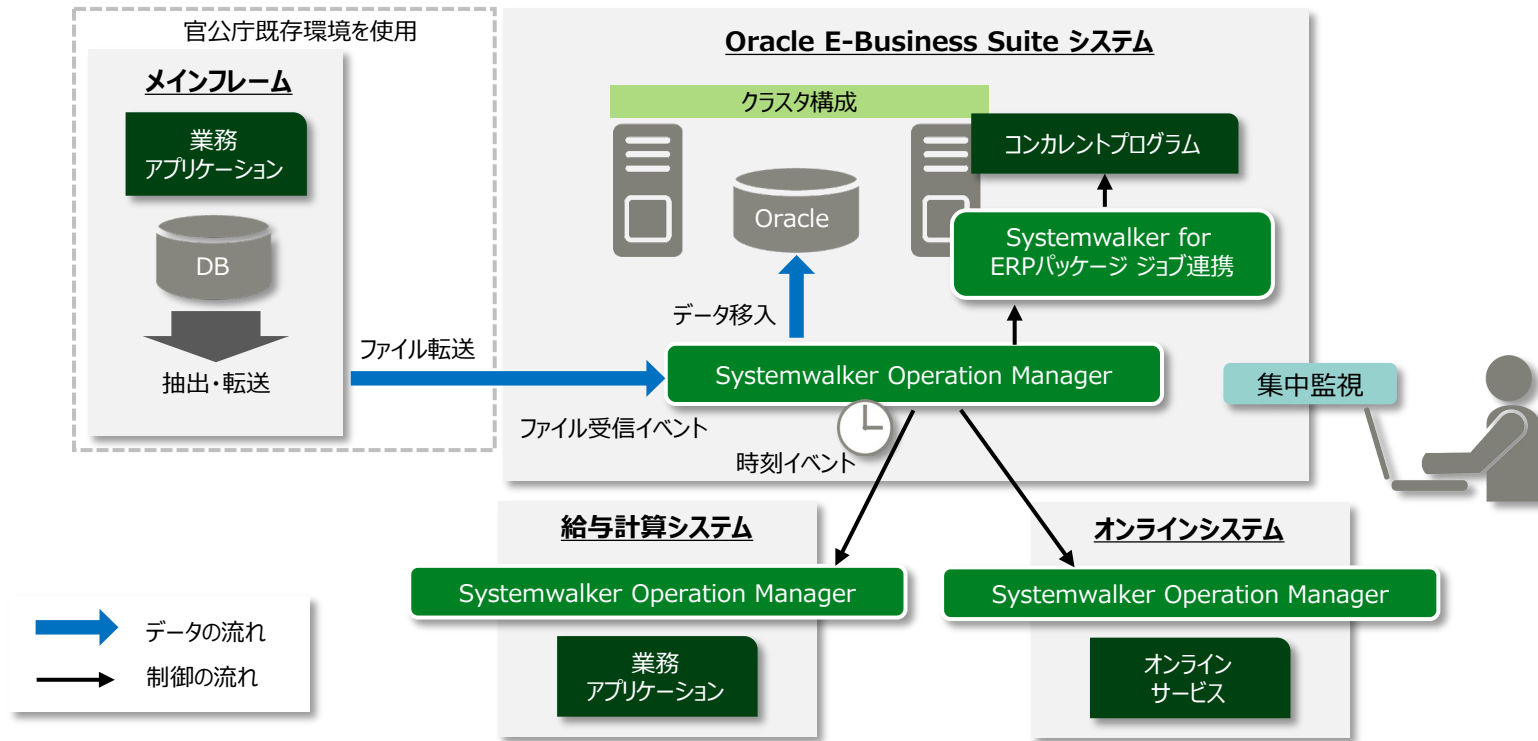


全体システムイメージ



Oracle E-Business Suite システム構成

システムイメージ



- Linux®は米国及びその他の国におけるLinus Torvaldsの登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Server、Azureまたはその他のマイクロソフト製品の名称および製品名は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- OracleとJavaは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
- Oracle Solaris はSolaris , Solaris Operating System , Solaris OSと記載することがあります。
- R/3、SAPおよび記載されているすべてのSAP商品名は、ドイツにあるSAP SEやその他世界各国における登録商標または商標です。
- 文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
- 会社名、製品名等の固有名詞は各社の商号、商標または登録商標です。
- その他、本資料に記載されている会社名、システム名、製品名等には必ずしも商標表示 (TM・®) を付記していません。

Thank you

